

《諮問2 参考資料》

茨城県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会による第3期データヘルス計画策定に係る意見

1. 目的・目標の設定について

取手市からの質問	保健事業支援・評価委員会からの意見・回答
<p>ポピュレーションアプローチを主とする保健事業や介護予防事業に関して、例えば、C-2健康相談（P99）、C-4健康運動教室事業（P101）、C-6地域介護予防支援事業補助金事業（P103）、C-7生活支援体制整備事業（P104）、C-8在宅医療介護連携事業（P105）では、アウトカム指標が未設定若しくはアウトカム指標とアウトプット指標が混在している。適切な評価指標についてご助言いただきたい。</p>	<p>ポピュレーションアプローチのアウトカム指標として考えられるのは、例えば健康日本21の「収縮期血圧の平均値の低下」、「適正体重維持者の割合の増加」などで、様々なポピュレーションアプローチの総合的な評価として考えられます。</p> <p><u>（1）健康相談事業</u></p> <p>アウトプット指標として、健康相談実施後に可能であれば参加者に対して返送可能な手紙や電話等で確認を行い、運動習慣や食習慣の改善状況を評価されてはいかがでしょうか。また、健康相談後にアンケートなどで聞き取りを行い、健康相談の満足度を評価する方法もあると思いますのでご検討ください。</p> <p><u>（2）健康運動教室事業</u></p> <p>週1回、集合型の教室を開催されておりますので、参加者の継続率を教室の参加人数や参加率をアウトプット指標として評価をされてはいかがでしょうか。</p> <p><u>（3）地域介護予防支援事業補助金事業</u></p> <p>参加団体数について、令和4年度の9団体に対して令和5年度以降の目標値を8団体と記載されていますが、より多くの団体に参加していただく取組みの予定がありましたら、目標値を修正されてはいかがでしょうか。また、アウトカム指標については記載していただいているとおりの参加人数（延べ）で評価していただきたいと思います。</p> <p><u>（4）生活支援体制整備事業及び在宅医療介護連携事業</u></p> <p>それぞれ記載していただいているとおりのアウトプット指標、アウトカム指標で評価をしていただきたいと思います。アウトカム指標の各年度目標値について計画の途中で上限となっているので、最終的な目標値を達成するための増加率を踏まえて記載されてはいかがでしょうか。</p>

2. 盛り込むべき事業の検討について

取手市からの質問	保健事業支援・評価委員会からの意見・回答
<p>盛り込むべき事業の検討について、計画表のとおりC-5（仮称）健幸づくり推進員育成事業（P102）を新規事業として立ち上げようと考えている。ただし、取手市としては全くの新規事業であるため不透明な部分が多い。そのため、事業開始までの予算確保（助成金があればその種類）から実際の事業開始までのロードマップについてお示しいただきたい。</p> <p>（意見）</p>	<p>記載していただいているアウトプット指標、アウトカム指標で評価をしていただければと思います。事業開始までの予算確保等の流れについては、県立医療大学の先生方からのご意見を参考に国や県などから出される通知等をご確認ください。</p>

3. その他

取手市からの質問	保健事業支援・評価委員会からの意見・回答
<p>計画の要旨（データヘルス計画ではP4-7、特定健康診査等実施計画ではP109）では、どの程度市の独自性を出せばよいかを伺いたい。</p>	<p>国指針等を踏まえ、計画の趣旨や背景、目的、貴市の過去の計画などを踏まえて記載できていると思います。</p>